

# 施政方針と主な事業

平成22年度は、「さいかい力の結集による活力あるまちづくり」の実現に向けた大きな飛躍の年となるよう、これまで培われてきた地域に根付く産業や、人材、豊かな自然環境、歴史や文化など、対外的にアピールできる西海市の魅力をしっかり見極めながら、個性あるまちづくりに取り組みます。



西海市長 田中隆一

## 行財政改革

第2次行財政改革大綱に基づき行財政改革の一層の推進に努め、簡素で効率的な行財政運営の確立を目指します。  
また、「民間でできるこ

とは民間で」という考え方に立ち、現在のサービス水準を落とさないことを基本に各種施設の民間移譲を進めます。

## 組織機構改革

旧長崎オランダ村再生等の各種プロジェクトへの対応や、市長特別枠プロジェクトの具体化、市長マニフェスト、各種中・長期計画の進捗管理体制の確立を図るため、組織機構の見直しを行いました。今後、限られた人員で最大の効果を発揮できる組織体制の構築を目指します。

## 市立病院等の改革

平成23年4月を目標に、市立病院、特別養護老人ホーム大崎やすらぎ荘及び養護老人ホーム緑風園の3施設を一体的に民間に移譲する方針を決定いたしました。

今後は、本方針に基づき市民及び議会等関係者と連携を図りながら取り組みを進めて参ります。

「暮らす地域資源を活かした住みたくなる里づくり」

環境保護と循環型社会の形成

平成21年度は、市全域が

県内で初めて「長崎県希少野生動植物種保存地域」に指定され、本市の自然環境の素晴らしさを改めて認識する機会に恵まれました。今後は、将来の市民ぐるみの保護活動への進展や、自然豊かな西海市の対外的なイメージ確立に向けた取り組みを推進します。

また、ごみ・し尿等の適正処理に資する新しいごみ処理施設及び汚泥再生処理センターの整備推進や、ごみの排出抑制及びびりサイクルを一層推進するための啓発に努めます。

## 土木事業

継続事業の市道山手1号線改良事業並びに市道河内岳2号線改良事業、新規事業の市道灯台南風泊線整備事業等に取り組みます。

## 水道事業

西彼北部地区簡易水道改良事業が平成22年度をもって完了する見込みです。その他、大瀬戸中部地区簡易水道の配水管布設替などに取り組みます。

## 下水道事業

生活環境の改善と公共用水域の浄化を図るため、管渠施設を中心に計画的に整備を進めます。

供用開始地区については、

加入促進を図り、水洗化率の向上を目指します。

## 公共交通体系の整備

平成21年度策定の「西海市地域公共交通総合連携計画」に基づき、乗り継ぎの円滑化や交通空白地区対策などの実証実験に取り組み、より利便性の高い公共交通体系の構築に努めます。

## 安全な暮らしの確保について

西海町横瀬郷に建設中のエアクッション型揚陸艇駐機場施設の運用開始に備え、周辺地域住民をはじめとする市民の皆様方の安心、安全を確保するため、基地対策班を設置します。

また、老朽化の著しい防災行政無線施設について、平成22年度は崎戸地区の整備に取り組みます。

「働くいつまでも働ける元気な産業が息づく里づくり」

## 雇用機会の創出

国の「緊急雇用創出事業交付金事業」等を活用し、求職者の皆様に出来るだけ多くの雇用機会が提供できるよう努めます。

企業誘致については、長崎県との緊密な連携を図りながら企業の進出意向に関

する情報収集に努め、工業団地の造成に向けた調査など、誘致の実現に向けた積極的な取り組みを進めます。

## 農林水産業

地域の農業の担い手を「認定農業者」や「集落営農組織」と位置付け、やる気のある農家に対して、国県の事業を有効に活用し支援を行うほか、重点施策として、有害鳥獣被害の解消を図るため、体制の強化を行い、捕獲対策や被害防止対策の充実を図ります。

林業については、長崎南部森林組合が取り組む、市内産ヒノキの製材加工による高付加価値化、ブランド化に資する事業を支援します。

水産業については、「西海市水産振興計画」に基づき、定住促進と新規漁業就業者の確保に努めるとともに、漁村地域における水産加工品の量的、質的向上を図るための「水産加工振興事業」等に取り組みます。

## 新産業の創造

商工業者と農林水産業者の異業種交流による新産業の創造を促進するため、新事業起業家コラボ支援事業」を創設し、起業計画の策定など専門家によるサポートに取り組みます。

## 交流人口の拡大

平成22年度を「西海市観光元年」と位置付け、「西海名人倶楽部ブランドインダストリー」を創設するなど、西海市のヒトを中心とした着地型旅行商品や、農林水産特産品等のブランド化による販売促進に向けた取り組みを加速し、西海市の知名度アップと、更なる交流人口の拡大を図ります。

## 「学び、生きがいと未来を創造する教育の里づくり」

### 教育環境

小中学校適正配置については、西海地区及び大島・崎戸地区の中学校については「中学校適正配置実施計画（素案）」を作成し、保護者並びに地域住民の皆様への説明を行って参ります。学校施設整備については、耐震改修事業を年次計画に基づき推進するほか、施設改修など安心安全で快適な学校教育環境の構築に努めます。

### 学校教育

「確かな学力」の定着を目指し、分ける授業の実現と家庭学習の充実を図ります。また、市独自の教育補助員を2名増員して、16名とし、個に応じたきめ細か

な指導を進めます。

「豊かな人間性」を育むため、「美しい日本語推進事業」に取り組み、子ども達の日本語に対する感性を磨き、言語生活の充実を図ります。また、小学校高学年において、ふるさとについて学ぶ「西海学」を実施し、郷土愛を育みます。

「たくましい体」を育むため、健康な学校生活の実現に向けて、「早寝・早起き・朝ごはん」運動に継続的に取り組みます。

### 社会教育

住民が主体的に取り組む生涯学習活動の支援や、学習活動をコーディネートする地域リーダー等の育成等により、公民館活動の活性化を図ります。

また、市内の図書館・図書室を相互のネットワークで結んだ「図書システム」を活用し、地域の学習拠点である図書館が、より多くの市民に利用されるよう充実を図ります。

文化振興面では、文化財や歴史遺産の保存と活用にも努めるとともに、伝統文化の保存・継承及び、文化団体の育成と芸術文化の振興に努めます。



図書システム

### スポーツの振興

「健康の里推進事業」により、軽スポーツの普及、指導や健康講座を実施し、市民の健康づくりを促進します。

また平成26年度開催の長崎国体に向けて、国体準備委員会の設置やスポーツ教室の開催など、国体機運の醸成に努めるとともに、ジュニア層の競技力向上に努めます。

## 「安心する、安心して生み育て豊かに暮らせる里づくり」

### 保健事業

特定健診受診率及び特定保健指導の実施率向上のため、生活習慣病予防の徹底した追跡指導と改善を図りながら、市民の健康づくりの支援に努めます。

また、依然として死亡率が高いがんや、脳卒中などの生活習慣病が急増している現状をふまえ、健康教育、健康相談、訪問指導等の充実を図り、市民の健康づく

りの意識を高めて参ります。母子保健事業については、乳幼児の健全育成及び食育の推進について、関係機関と連携し、内容の充実を図ります。

感染症予防事業については、インフルエンザ、結核、麻しん等感染予防の普及啓発及び周知を図り、特に、「新型インフルエンザ対策」については、迅速な対応に努めます。

医療については、江島・平島における歯科診療の歯科ユニットの買い替えや、必要な医療器具の導入を行い、離島地域の医療体制の充実を図ります。

### 福祉政策

「西海市次世代育成支援地域行動計画」に基づき、次代を担う子ども達が健やかに生まれ育つことができよう、第2子以降の保育園、幼稚園児の保育料の無料化や、延長保育、休日保育、一時保育、病後児保育などの保育サービスの充実、子育て支援関係者の研修体制の推進に努めます。

また、産後のお母さんを支援するため「産後ママサポート事業」を実施します。障害者福祉では、市内での療育支援体制の構築のため、「児童デイサービス事業」の実施に向けた体制づ

くりに努めます。

高齢者福祉については、在宅サービスの一層の充実を図るとともに、生きがいを持つ地域社会に参画できるよう、「わいわいサロン事業」を積極的に推進します。

### 介護保険事業等

地域包括支援センターを核として、高齢者の生活機能向上のための介護予防事業等を積極的に展開するとともに、「脳はつらつ教室」をはじめとする総合的な認知症対策を推進します。

## 「市民協働の推進」

本市における市民協働のあり方を明らかにしていくため、「市民協働の里づくり委員会」において、基本方針の策定に向けた検討を進めて参ります。

また、地域の特徴を活かしたまちづくりを促進するため、「さいかい力創造支援事業補助金」や「集落支援員制度」等の新制度の構築を図り、各地区の地域審議会委員の皆様と連携を図りながら、市民の皆様が主体的な活動を支援いたします。